



フルーツバス停はイチゴ、メロン、ミカン、スイカ、トマトの5種類があった



諫早湾干拓堤防道路の展望歩道橋から撮影。道の両側に有明海、諫早新池が広がった



国重要文化財の眼鏡橋は新緑に包まれていた



「ばすたろう」の柚子ざしょうと干し海苔のアーリオ・オーリオ。パスタはモチモチ食感でおいしかった



名物のアサリはたっぷりサイズをお得に購入できた



帰りに立ち寄った諫早湾漁協小長井直売店



国道207号沿いにあるカラフルなフルーツバス停。撮影を楽しむ人が大勢訪れている＝長崎県諫早市小長井町

「ここに行くのがいいと思う?」。周りにアドバイスを求めると、「小長井のフルーツバス停めぐりが最高ですよ」と答えが返ってきました。朝から抜けるような青空が広がった日、編集部と同僚と早速行ってみることにしました。

有明海沿岸道路から国道444号、国道207号、多良岳オレンジ海道を通って小長井へ。車が少なくとてもスムーズで、1時間ちよつとで到着しました。

長崎に行く時、自分はずっと高速道かJR特急だったので、フルーツバス停に来たのは初めてです。見てびっくり。海岸線を走る国道207号沿いに、真っ赤なイチゴ、薄緑色のメロン、黄色のミカンなどが輝いています。まるでおとぎ話の世界に紛れ込んだかのような雰囲気です。フルーツバス停は長崎旅博覧会(1990年)に作られる人たちの心を和ませようと、合併前の小長井町が発案。グリム童話「シンデレラ」のカボチャの馬車をイメージしたというのもうなずけます。

フルーツバス停は5種類16基です。順にお訪ねし、「ここでメイン写真を撮ろう」と目星をつけていた「井崎」に到着しました。ここは海側にメロン、陸側にイチゴがあり、二つを一緒に画角に入れることができます。

先に到着されていた方にモデル役をお願いすると、「いいですよ」と快く引き受けてくださいました。聞けば、福岡から家族9人で旅行中とのこと。「インスタで見つけてずっと来たいと思っていたました。念願がかないました」とうれしそうで、子どもたちもみんな笑顔でした。

「せっかくここまで来たのだから、もう少し楽しもう」と思案。諫早湾干拓堤防道路をひた走り、写真スポットとして知られる展望歩道橋へ。道路の両側に有明海、諫早新池が広がる風景を撮影しました。時間が許せば、雲仙、島原まで足を延ばしたいところですが、時間的にちよつと難しそうです。諫早市の中心部に向かい、石橋として日本で初めて国の重要文化財に指定された眼鏡橋を撮影しました。趣のある美しい二連アーチにうつりです。

食事は国道207号沿いにある「釜あげ生パスタばすたろう」でいただきました。最後に諫早湾漁協小長井直売店へ。名物のアサリをお土産に買いました。ネットにたっぷり入って1300円。酒蒸しにしていたきましたが、身が大きくプリプリしていて家族にも好評でした。

特集

日帰りドライブ

GW到来! 気になるスポットへ

まるでおとぎ話の世界 国道沿いがカラフルに

ときめきフルーツバス停通り
(長崎県諫早市小長井町)

待望のゴールデンウィーク(GW)到来です。日々の暮らしは気ぜわしいですが、休みの時ぐらいいはゆっくり過ごしたいと計画を立てている方も多いことでしょう。今回の特集では、家族やグループで楽しめる日帰りのドライブコースを紹介します。





大山ダムにはエレン、ミカサ、アルミンの少年期の銅像が立っていた



進撃の巨人 in HITA ミュージアムは、道の駅「水辺の郷おおよま」の敷地内にある = 大分県日田市大山町



ミュージアムは、サッポロビール九州日田工場にもあり、こちらは迫力満点の映像も楽しめた



想夫恋の焼きそばは外はカリカリ、中はしっとりでおいしかった



想夫恋大山店にも諫山先生の色紙があった



J R日田駅ではリヴァイ兵長の銅像が出迎えてくれる



原画の近くには、諫山先生の作品への思いが添えられていた



館内には、諫山先生が創作活動に使われた机なども置かれてている



進撃の巨人 in HITA ミュージアム

住 / 大分県日田市大山町西大山 4106
入場料 / 500 円 (18 歳以上)
営 / 9:30 ~ 16:00 (土日は 17:00 まで)
TEL / 0973-52-3630

漫画を生かした地域づくり 諫山先生の郷土愛に感動

進撃の巨人 in HITA (大分県日田市大山町)

九州出身の著名漫画家がいっぱいいます。「キングダム」の原泰久先生は三養基郡基山町出身で、「ワンピース」の尾田栄一郎先生は熊本市出身。そして今回注目した「進撃の巨人」の諫山創先生は大分県日田市大山町出身です。いま日田市は、諫山先生の力強いバックアップを受け、「進撃の巨人 in HITA」と銘打った地域づくりを進めています。聖地巡礼のファンが大勢詰めかけており、自分も行こうと思いいち立ちました。長崎道をひた走り、鳥栖ジャンクションで大分道へ。日田インターで一般道に降りた後はカーナビの案内通りに進みました。1時間半ほどで最初の目的地「進撃の巨人 in HITA ミュージアム」に到着です。

「これはすごい。ファンの方はたまらないだろうな」というのが、観賞した後の率直な感想です。館内には進撃の巨人の原画がたくさん飾られ、ファンに楽しんでもらうための工夫もいっぱいあります。例えばコミック表紙の原画。どんな意図でデザインしたのか、完成した表紙とともに諫山先生の言葉が添えられています。みなさん一つ一つじっくり読まれ、「へえ、そうなんだ」と納得です。こちらのミュージアムは4周年を突破。それからミュージアムはもう一つ、サッポロビール九州日田工場にもあります。こちら

は迫力満点の映像なども楽しめます。次に向かったのは大山ダムです。ここには漫画のはじまりのシーン、巨人が街を襲ってきたところを想起させる銅像が立っています。少年期のエレン、ミカサ、アルミンの3人がそり、ダムのコンクリート壁を街の城壁に見立てています。その後はJR日田駅行って人気のリヴァイ兵長の銅像をパチリ。どちらもクラウドファンディングで資金を集めて造られたそうです。昼食は、日田といえば想夫恋にぜひ行きたいと思いましたが、焼きそばの名店で日田に本店がありますが、今回は諫山先生が高校時代にアルバイトをされていた大山店でいただきました。場所ミュージアムのすぐ近くです。ここにも諫山先生のコメントとともに色紙が飾ってありました。平日でしたが、どこに行っても外国人の方もいっぱい、進撃の巨人の世界的な人気を実感しました。

ドライブの最後は直売所に立ち寄り、梅干し、梅みつなどを買いました。進撃の巨人の魅力と諫山先生の郷土愛に浸り、コミック全巻をもう一度読み直してみようと思いました。



ミヤコドリ 写真提供：ひがさす



ダイシャクシギ 写真提供：ひがさす



クロツラヘラサギ 写真提供：ひがさす



ひがさすの「ひがたのシアター」では干潟の四季の紹介映像を観賞できる



堤防には渡り鳥の紹介コーナーがあり、望遠鏡も設置されている



干潟と野鳥ゾーンではここを訪れる代表的な野鳥を学べる

渡り鳥たちの楽園 自然の豊かさを実感

東よか干潟（佐賀市東与賀町）



東よか干潟ビジターセンター「ひがさす」

住 / 佐賀市東与賀町田中 2757-4 干潟よか公園西側
営 / 9:00～17:00（月曜定休）
TEL/0952-37-0515

ひがさすでは毎年5月、「シギチフェス」を開いています。こしは5月17日（土）、18日（日）で、日本野鳥の会佐賀県支部のみなさんのサポートによるバードウォッチング体験や、生き物観察などが楽しめます。参加は無料ですが、一部有料のワークショップもあります。ぜひ家族でご参加ください。

む鳥たちの姿が見えます。とても静かで、風の音、漁船のエンジン音だけが聞こえます。1時間半ほど鳥たちの姿を見つめましたが、とてもゆっくりと時間が流れ、心が満たされました。

「鳥たちを観察されるなら、有明海の干満差が5メートルを超す大潮の1時間前後がベストですね」と古川さん。それなりの写真は撮れたのですが、東よか干潟の魅力を存分にお伝えるため、今回は「ひがさす」から提供いただいた写真を掲載しています。

ひがさすは、多様な生き物が生息し、鳥たちが渡来する東よか干潟の価値と魅力を体感できる施設です。まずは「ひがたのシアター」で干潟の四季の紹介映像を見てください。それから鳥たちを見に行くと、より理解が深まります。

【記事：杉原孝幸 デザイン：蒲原貴子】



渡り鳥たちの楽園と呼ばれている「東よか干潟」。さまざまな種類の鳥たちを観察でき、シギ・チドリ類の渡来数は日本一を誇る＝佐賀市東与賀町 写真提供：ひがさす

ドライブというと、遠出を考える人が多いかもしれませんが、近場にもすてきな時間を過ごせる場所がいくつかあります。渡り鳥たちの楽園と呼ばれている「東よか干潟」（佐賀市東与賀町）もその一つです。

「春は鳥たちの渡りのシーズンですので、たくさんシギやチドリを見ることが出来ます。ふるさとの自然の豊かさを実感しに来てください」。こう呼び掛けるのは、東よか干潟ビジターセンター「ひがさす」のセンター長、古川尋美さんです。

渡り鳥たちは、繁殖地である北半球のシベリア、アラスカと、越冬地である南半球のオーストラリア、ニュージーランドを往復しますが、東よか干潟は長い



クロツラヘラサギ 写真提供：ひがさす

距離を旅する鳥たちの休息やエネルギー補給の場として重要な中継地となっています。シギ・チドリ類の渡来数は日本一を誇り、絶滅が危惧されている鳥たちの姿も多く見ることが出来ます。2015（平成27）年水鳥たちの生息地としての重要性が認められ、国際的に重要な湿地としてラムサール条約湿地に登録されました。

これまで本格的に鳥たちを撮影したことはないのですが、まずは自分でチャレンジです。よく晴れた朝、満潮前の東よか干潟に行き、望遠レンズを付けたカメラを三脚に固定してファインダーをのぞきました。波が打ち寄せる中、水際にかたまり、時折えさをついば



ハマシギの群れ 写真提供：ひがさす